

【人材育成学会第10回研究会のご案内】  
**「ワーク・ライフ・バランスと企業組織戦略」**  
 ～ 企業と個人の調和を目指す新しい風土作り～

「ワーク・ライフ・バランス」 - 1980年代アメリカで女性の採用・活用や子供の保育など主に働く母親を対象とした「ワーク・ファミリー・バランス(ファミリーフレンドリープログラム)」への取り組みとして、保育に関する情報提供といった保育サポートとしてスタートしました。それが1990年になり、働く母親をケアするという狭い枠を越えて、従業員全体の私生活に配慮した制度やプログラムとして取り込まれるようになり、今に至っています。日本国内でも、少子化を契機に、「ワーク・ライフ・バランス」が叫ばれてきましたが、個人のニーズと企業の取り組み姿勢には、大きなギャップが存在し、十分な浸透が図られてきたとは言えない状況です。

一方、企業は、2000年に入り、少子化・高齢化・若年層のニート化という諸々の要因からなる“労働人口の減少”という未だかつて無い環境変化の中に置かれています。その中で、成果・個人を中心とした戦略から、新しい企業と個人の間を前提とした組織風土作りが、正に企業の戦略として必要になり始めています。

本研究会では、「ワーク・ライフ・バランス」を新しい企業風土を作るため、企業が戦略的に取り組むべき施策の一つと捉え、研究のテーマとして取り上げることと致しました。

今回は、ダイバーシティマネジメントに関して豊富な知識をお持ちであり、企業の人事・人材開発部門で長らく活躍をされておられる2名の論客をお招きし、“ワーク・ライフ・バランスと企業組織戦略”についてそれぞれのお立場で報告していただきます。問題提起・全体討論のコーディネートには、人材育成学会理事でもあります、慶應義塾大学、花田光世教授にご登壇いただき、フロアの皆様との討論を深めてまいります。

2007年 6月 研究会企画担当 寺嶋 一郎 (有限会社シンクロキャリア 代表取締役)

日時 2007年7月22日(日) 14:00～17:00  
 会場 (学)産業能率大学 代官山キャンパス

プログラム

13:30		開場、受付	
14:00	14:05	【司会】	寺嶋 一郎 (有限会社シンクロキャリア)
14:05	14:40	【問題提起】	「ワークライフバランスを考える」 花田 光世氏 (慶應義塾大学総合政策学部 教授)
14:40	15:10	【講演 1】	「ワーク・ライフ・バランスと企業組織戦略」 伊藤 純 氏 (元株式会社資生堂 人事部部長/元資生堂アステック株式会社 代表取締役社長)
15:10	15:40	【講演 2】	「ダイバーシティ戦略に支えられた日本 HP の取り組み」 川合 昭子 氏 (日本ビューレット・バックカード株式会社 ダイバーシティ・キャリア推進部担当部長)
		休 憩	
16:00	17:00	【全体討論・フロアを含めた質疑応答】	